



岸和田市八木南小学校 校長室だより

「日日の善行」(ひびのぜんこう)

学校教育目標 かしこく やさしく たくましく
めざす学校像 だれもが主役になれる学校



校長 山下善久

令和4年12月23日

師走を迎え、お忙し時期かと思いますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今年の11月は例年に比べて暖かい天候がつづきましたが、12月になって、ようやく寒さも本格的となり、冬らしくなり季節感が高まってまいりました。

さて、日本漢字能力検定協会が毎年12月に、その年一年の世相を表す漢字とその理由を全国から募集して、最も応募数の多かった漢字を、「今年の漢字」として発表しています。例年、京都・清水寺の貫主が揮毫によって発表していますので、これまでにニュースなどでご覧になって、よくご存じの方も多いのではないかと思えます。そして先日12月12日に発表された今年の漢字は「戦」でした。この発表を見て、「やっぱりなあ」と感じた方も多かったのではないのでしょうか。

「戦」が選ばれた主な理由として、以下の3点が発表されています。

- ① ロシアのウクライナ侵攻などにより、「戦」争を意識した年であること。
- ② 円安・物価高・電力不足や感染症など、生活の中で起きている身近な「戦」いがあったこと。
- ③ サッカーW杯や北京冬季オリンピックでの熱「戦」、野球界での記録への挑「戦」に関心が集まったこと。

この3つの理由の中でも、特に①の「戦」争の意味合いがいちばん強かったのではないかと思えます。そして2位から10位には以下のような漢字が選ばれています。

2位「安」	3位「楽」	4位「高」	5位「争」	6位「命」
7位「悲」	8位「新」	9位「変」	10位「和」	

こうして見てみると、「戦」と同様に、5位の「争」や7位の「悲」のように辛くて悲しい意味を持つ漢字が選ばれている反面、2位の「安」3位の「楽」10位の「和」など、おだやかな漢字もランクインしています。きっとこれは来年が平「和」で、「安」全・安心が保証される「新」しい社会が形成される年に「変」わってほしいと願う人が多いからなのではないかと思えます。

ぜひ来年はおだやかで明るい世相を反映する漢字が選ばれる年になってもらいたいと思えますし、本校も子どもたちみんなが、楽しい気持ちになれる、安全安心な学校を実現できる年になるように努力を続けてまいります。

私が4月から本校に赴任して9か月経ちました。保護者の皆様・地域の皆様には本校の教育活動に対して、ご理解とご支援をたまわり、誠にありがとうございました。厚く御礼を申し上げます。今年も残りわずかです。皆様、ぜひ良いお年をお迎えください。

